

5. 水辺の小さな自然再生の普及による川づくり人材育成

水循環・水環境グループ／自然環境グループ
研究員 和田 彰

本日の発表内容

当研究所が自主研究の一環で事務局運営を担う「日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)」の平成30年度の活動成果を報告させていただきます。

(1) 平成30年度のJRRN活動概要

- JRRN概要紹介
- 平成30年度の活動報告

(2) 小さな自然再生の普及促進活動

- 「小さな自然再生」とは
- 平成30年度の小さな自然再生普及促進報告

※本活動は、(株)建設技術研究所国土文化研究所との共同研究「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する研究」の一環で実施したものです。

1. 平成30年度のJRRN活動概要 JRRNの設立経緯

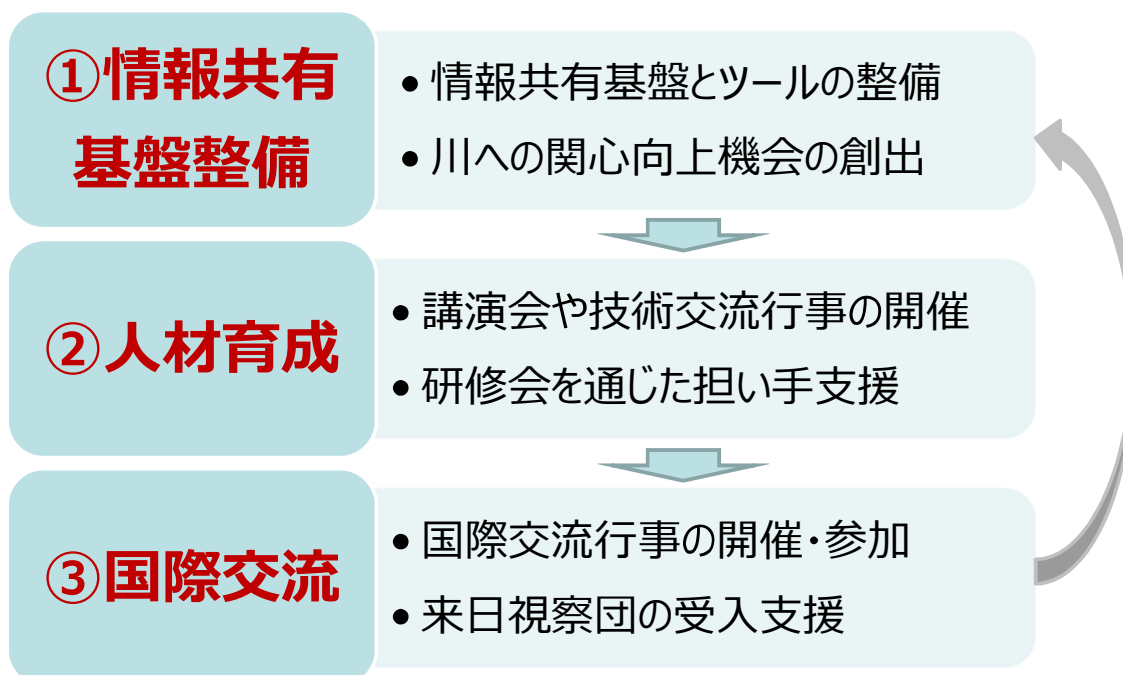
- 2006年3月：第4回世界水フォーラムにおいて、日中韓（日本：国土交通省、中国：水利部、韓国：建設交通部）が**アジアの河川再生に関する情報共有と人材育成の仕組み構築**を提言。
- 2006年11月：日中韓が「アジア河川・流域再生ネットワーク（Asian River Restoration Network: **ARRN**）」を設立し、同時に日本はその窓口機関として**日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)を設立**。



※JRRN会員：個人会員：800人、団体会員：60団体（2019年8月末現在）

1. 平成30年度のJRRN活動概要 JRRNの活動三本柱

- 国内外の川づくりの担い手が繋がりに、**新たな行動を起こす人材を増やし育成すること**を目的に、以下の三つを柱に活動を展開。



1. 平成30年度のJRRN活動概要

①情報共有基盤の整備

①情報共有 基盤整備

- JRRN & 小さな自然再生 & ARRN **ウェブサイト**運営
- ニューズメール**配信（毎週） / **ニューズレター**発行（毎月）
- JRRN & 小さな自然再生 **facebook**運営
- 「桜のある水辺風景2018」公募&**写真集**発行
- 「小さな自然再生」事例**データベース**構築&運営



桜のある水辺風景 2018 応募写真集



HARRN・SARRNネットワーク

小さな自然再生の事例（地図から検索）：34か所



1. 平成30年度のJRRN活動概要

②川づくり人材育成

②人材育成

- 第6回 小さな自然再生**自由集会**(2018.9@東京)
- 秋田県「多自然川づくり**研修会**」支援(2018.10@秋田)
- 小さな自然再生**サミット**神戸大会(2019.1@兵庫・神戸市)
- iRIC**講習会**(2019.1@兵庫・神戸市)



1. 平成30年度のJRRN活動概要 ③国際交流

③国際交流

- 第15回ARRN国際フォーラム(2018.8@東京)
- 第13回ARRN運営会議(2018.8@東京)
- 台湾・台中市政府水利局視察支援(2018.8@東京)
- 香港NGO視察支援(2018.8@東京・埼玉)
- 香港特別行政区政府渠務署視察支援(2018.9@東京)
- 中国水利水電科学研究院60周年行事(2018.11@北京)



1. 平成30年度のJRRN活動概要 JRRN受賞実績



**第20回日本水大賞
「国際貢献賞」表彰
(2018.6@東京)**



**平成30年度 河川基金助成事業
「優秀成果」表彰
(2019.1@東京)**

本日の発表内容

当研究所が自主研究の一環で事務局運営を担う「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」の平成30年度の活動を報告させていただきます。

(1) 平成30年度のJRRN活動概要

- JRRN概要紹介
- 平成30年度の活動報告

(2) 小さな自然再生の普及促進活動

- 「小さな自然再生」とは
- 平成30年度の小さな自然再生普及促進報告

※本活動は、公益財団法人河川財団の河川基金の助成を頂き、「小さな自然再生」研究会メンバーと共に取組んでいるものです。

2. 小さな自然再生の普及促進活動 小さな自然再生とは：3定義



次の**3条件**を満たす取組みを「小さな自然再生」と定義

- ① 自己調達できる資金規模であること
- ② 多様な主体による参画と協働が可能であること
- ③ 修復と撤去が容易であること

2. 小さな自然再生の普及促進活動 小さな自然再生とは：波及効果



小さな自然再生の取組みを通じた波及効果(副産物)

□地元の川への愛着の醸成 (郷土愛)

□自然との対話を通じた地域の課題の学び (環境教育)

□地域住民の交流が活発化 (地域再生)

⇒英語名は「**Collaborative Nature Restoration**」

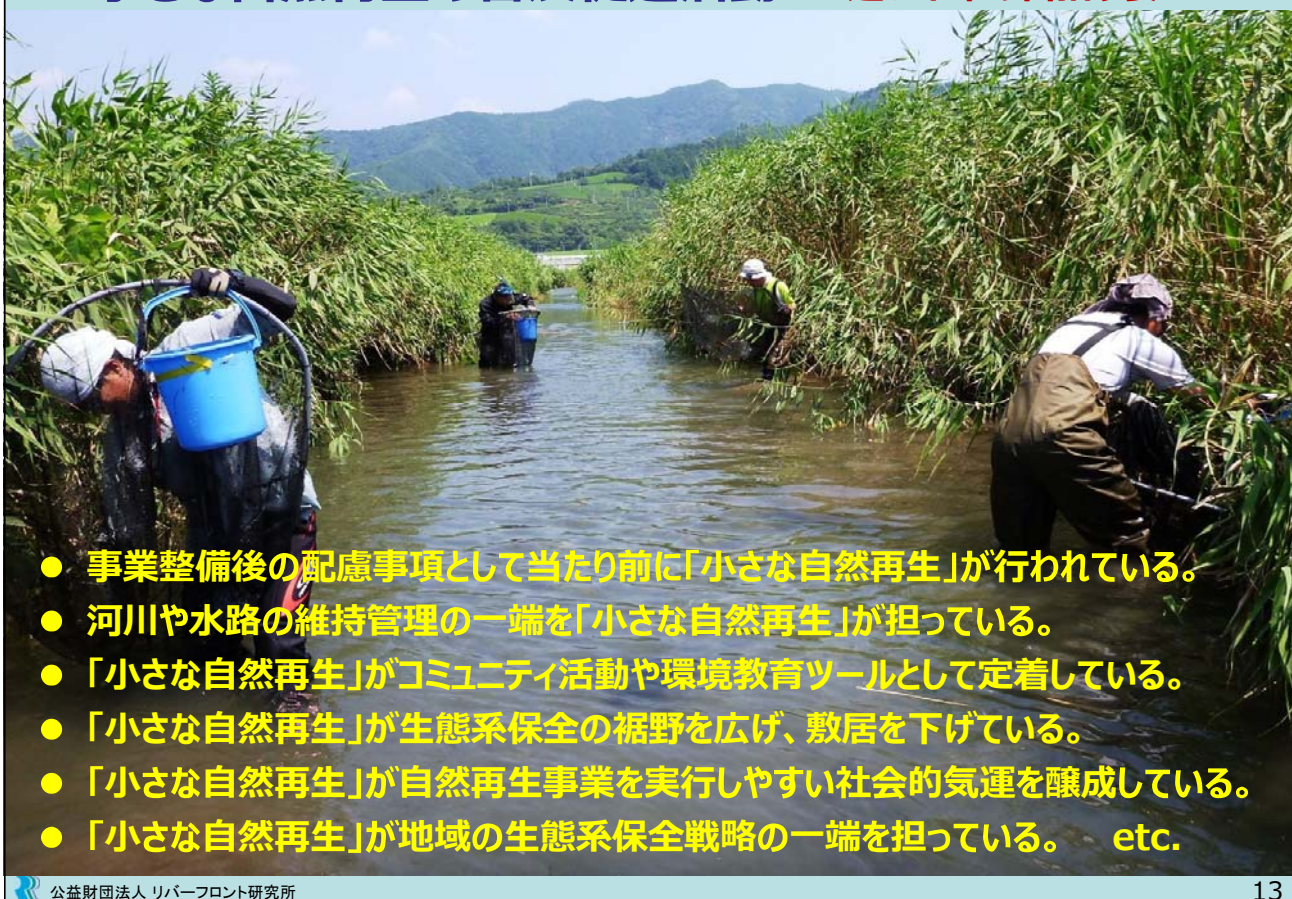
2. 小さな自然再生の普及促進活動 小さな自然再生とは：留意点



- 設置する‘モノ’が洪水の流れを邪魔しないか？
- 洪水で流されたとしても大丈夫か？
- 護岸や堤防などの施設に影響がないか？
- 河川景観への配慮
- メンテナンスは誰がやるのか？
- 作業で濁水や水質事故を起こさないか？
- 漁協や地域住民との調整は大丈夫か？
- 河川管理者に協力してもらえるかが鍵となる
- 行政が進める様々な事業や施策を追い風にして巻き込む
- 関係者の支持を得ることで巻き込む etc.

2. 小さな自然再生の普及促進活動

近い未来の目指す姿



- 事業整備後の配慮事項として当たり前「小さな自然再生」が行われている。
- 河川や水路の維持管理の一端を「小さな自然再生」が担っている。
- 「小さな自然再生」がコミュニティ活動や環境教育ツールとして定着している。
- 「小さな自然再生」が生態系保全の裾野を広げ、敷居を下げている。
- 「小さな自然再生」が自然再生事業を実行しやすい社会的気運を醸成している。
- 「小さな自然再生」が地域の生態系保全戦略の一端を担っている。 etc.

2. 小さな自然再生の普及促進活動

社会実装に必要な取組み

「小さな自然再生」の社会実装に向けて注力すべき取組み

機能	取組み
①人の繋がり構築 (担い手のネットワーク)	「小さな自然再生」研究会の仕組み強化 仲間が集う場づくり (シンポジウム、サミット等)
②小さな自然再生の 概念や技術の体系化	事例の収集・整理
	事例に基づくレビュー (概念整理、到達点、効果等) 議論の場づくり (自由集会等)
	技術の指針となる手引き (テキスト) の用意
③新たな担い手支援 (人材育成)	小さな自然再生の悩み相談窓口設置 (サポート窓口)
	専門家派遣の仕組みづくり 人材育成プログラムの構築
	現場研修の機会づくり (現地研修会等)
④普及啓発促進 (アウトリーチ)	事例のデータベース化 (全国の拡がりの可視化) 各種ツールの充実化 (HP、事例集、動画 etc.)

2. 小さな自然再生の普及促進活動 普及に向けたツールの整備

新たに取組む参加者のハードルを下げることで「小さな自然再生」の担い手を全国に増やすことを目指し、小さな自然再生の理念や基礎知識、具体事例等を紹介するツールを整備中。



2. 小さな自然再生の普及促進活動 平成30年度の普及活動概要

平成30年度の取組み

機能	取組み
①人の繋がり構築 (担い手のネットワーク)	「小さな自然再生」研究会の仕組み強化 仲間が集う場づくり （シンポジウム、 サミット 等）
②小さな自然再生の 概念や技術の体系化	事例の収集・整理 事例に基づくレビュー（概念整理、到達点、効果等） 議論の場づくり（自由集会等） 技術の指針となる手引き（テキスト）の用意
③新たな担い手支援 (人材育成)	小さな自然再生の悩み相談窓口設置（サポート窓口） 専門家派遣の仕組みづくり 人材育成プログラムの構築 現場研修の機会づくり（現地研修会等）
④普及啓発促進 (アウトリーチ)	事例のデータベース化 （全国の拡がりの可視化） 各種ツールの充実化（HP、事例集、動画 etc.）

2. 小さな自然再生の普及促進活動 データベース構築

小さな自然再生の事例（地図から検索）：34か所



<http://www.collabo-river.jp/>

「水辺の小さな自然再生」事例紹介

		記入年月		2018年11月	
都道府県名	新潟県	河川名	久知川	久知川	
事例タイトル	パーエ工によるホタル復活の取組み				
写真					
水系名/河川名	久知川水系/久知川	場域	新潟県佐和田市久知町内		
位置情報 (緯度経度)	38.042951, 138.469405	活動開始年	平成29年		
活動概要 (経緯・目的等)	かつてホタルの生息地として広く知られていた佐和田市東部の久知町内東部では、平成18年度からホタルが激減し、地域が誇りにしていた「ホタル祭」が開催できなくなっています。県では、地元の高齢団体の貴重な体験を機に、平成29年から地元の高齢団体とともに宇治市等を通じて現地調査し、対策検討を進めてきました。平成30年には、ホタルが再び久知川に定着するように、中学生と協働でパーエ工を計画しました。				
再生の手段	<input checked="" type="checkbox"/> 簡易池掘 <input checked="" type="checkbox"/> 簡易改良 <input type="checkbox"/> 市民・市民団体 <input type="checkbox"/> 大学・研究機関	<input checked="" type="checkbox"/> 簡易水堀 (石・アザミ) <input checked="" type="checkbox"/> たまり・わんど造成 <input type="checkbox"/> 河川管理者 (国) <input type="checkbox"/> 宇治 (中継)	<input checked="" type="checkbox"/> パーエ工 (土砂おろし) <input checked="" type="checkbox"/> 河床掘削 <input type="checkbox"/> 河川管理者 (郡町村) <input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> 石置かご・竹板造 <input type="checkbox"/> その他 (遊具) <input type="checkbox"/> 河川管理者 (市町村) <input type="checkbox"/> その他 (遊具)	<input type="checkbox"/> 親子ロールモデル <input type="checkbox"/> 水手
実施体制 (活動の担い手)					
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・パーエ工設置が重労働で、高齢化した地域の若齢団体のみでは困難のため、地元中学校（1年生）に協力を求めました。 ・中学生には事前「生物多様性」のパーエ工設置の授業を行い、活動の意味を理解してもらいました。 ・パーエ工設置作業は、午前・午後等幅広い構成で協働を実施しました。 ・生物調査も実施し、地道の豊かな生き物や魚道の効果も実感してもらいました。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・設置したパーエ工が今後の台風を経てどのように定着するか、カワエテ放流などの措置を進めるか、クワシボが材定着するかを継続的に観察しています。こうした観察や、その結果を受けての対応は、地元の高齢団体が継続的に実施していただければ幸いです。 ・汎用化した集案では、こうした活動の継続が課題であると感じています。 				
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・設置したパーエ工の周辺では、その他の小規模な出水を経て、やや増殖した流れが生じています。今後、パーエ工の水観効果により、さらに流れに変化が生じれば期待しています。 ・授業の興味は上流のダム事業で消滅化が進んでしまいましたが、各パーエ工の報告には詳細や写真が掲載しおめています。一部は、ホタルの幼虫は移殖後も、カワエテは砂泥混じりであり、こうした底質環境の変化はホタルの棲着にとって好都合に効果も期待できます。 				
関連URL等	http://www.collabo-river.jp/collabo.html?collabo=134450.html				

2. 小さな自然再生の普及促進活動 議論の場づくり



第6回 小さな自然再生自由集会 (2018.9@東京)



水循環シンポジウム発表(2018.12@東京)



川づくり団体全国事例発表(2019.1@東京)

2. 小さな自然再生の普及促進活動

研修会の開催&支援



iRIC講習会
(2019.1@兵庫・神戸市)

秋田県「多自然川づくり研修会」支援(2018.10@秋田・斉内川)

2. 小さな自然再生の普及促進活動

サミット開催

2019年
1月26・27日
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

小さな自然再生サミット

～できることから始めよう～ 2019 神戸大会

<p>1/26 (土) サミット @KIITO (神戸市)</p> <p>13:00 開場 参加者受付開始、参加者交流、自由参加 13:00 サミット開会 開会挨拶：玉井博行氏 (東京大学名誉教授) 13:50 基調講演：益谷幸宏氏 (神戸大学教授) 15:50 事例発表 ※報告書は配布済み 16:40 意見交換会 18:00 サミット閉会 18:30 懇親会 閉会(～20:00 自由参加)</p>	<p>1/27 (日) 現地視察 @住吉川 "住吉川の「水辺の小むすび商店」"</p> <p>お昼食：(お弁当) 散礼后 9:00 集合～11:00 解散 【現地案内】 奥本雅夫氏 (財団法人河川財団理事長からのお話を伺えます) 立川 伸哉 (兵庫県神戸土木事務所)</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

河川基金 公益財団法人河川財団による 河川基金の助成を受けています。



小さな自然再生サミット神戸大会 (2019.1@兵庫・神戸市)

2. 小さな自然再生の普及促進活動

サミット開催～発表事例

小さな自然再生サミット

～できることから始めよう～ 2019 神戸大会

発表事例

- 【北海道】「よみがえれ！駒生川 手作り魚道が生み出す生物多様性」
町田 善康氏・美幌博物館（駒生川に魚道をつくる会）
- 【秋田県】「小さな自然再生を活用した多自然川づくり職員研修の取組み」
児玉 光広氏・秋田県建設部河川砂防課
- 【新潟県】「久知川におけるホタル復活の取組み～パープエの設置～」
岩崎 敏氏・新潟県佐渡地域振興局地域整備部
- 【愛知県】「地域と行政の共働で取組む岩本川での“ふるさとの川づくり”」
山本 大輔氏・豊田市矢作川研究所
- 【岐阜県】「河川と農地をみんなであつなく『水みち連携事業』」
原田 守啓氏・岐阜大学／上野 公彦氏・岐阜県
- 【滋賀県】「琵琶湖・家棟川にビワマスを取り戻せ！～多主体協働による保全・再生活動の推進～」
佐藤 祐一氏・滋賀県琵琶湖環境科学センター
竹門 康弘氏・京都大学防災研究所水資源環境研究センター
- 【京都府】「市民参加による鴨川の連続性の改善」
立川 伸氏・兵庫県神戸県民センター神戸土木事務所
- 【兵庫県】「住吉川における『水辺の小わぎ魚道』の取組みについて」
村上 健一郎氏・福田川グリーンクラブ
- 【兵庫県】「都市河川『福田川』の高水敷におけるピオトープ作りの試み」
三橋 弘宗氏・兵庫県立人と自然の博物館
／宇野 君平氏・成安造形大学
- 【岡山県】「魚もいない川なんて退屈すぎるぜ！～岡山・西粟倉村のクラウドファンディングによる挑戦～」
岡野 豊氏・エーゼロ株式会社
- 【島根県】「大田市における『静間川天然アユ復活プロジェクト』について」
森山 俊信氏・NPO 法人緑と水の連絡会議
- 【香川県】「一般市民による水辺の連続性回復を目指す可搬魚道開発の挑戦」
高橋 直己氏・香川高等専門学校
- 【高知県】「手作り魚道の試行錯誤とモニタリングがもつ可能性」
山下 慎吾氏・Sakanayama Lab.
- 【福岡県】「『ぎょぶたんぼ』プロジェクト 2018～地域の生物多様性保全と自然体験の場を創出する試み」
上野 由里代氏・NPO 法人北九州・魚部

2. 小さな自然再生の普及促進活動

サミット開催～発表事例



【北海道・駒生川】



【秋田県・斉内川】



【新潟県・久知川】



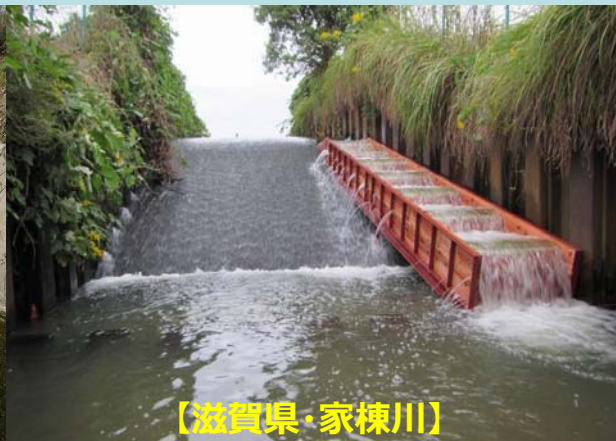
【愛知県・岩本川】

2. 小さな自然再生の普及促進活動

サミット開催～発表事例



【岐阜県・武儀川】



【滋賀県・家棟川】



【京都府・鴨川】



【兵庫県・住吉川】

2. 小さな自然再生の普及促進活動

サミット開催～発表事例



【兵庫県・福田川】



【兵庫県・武庫川】



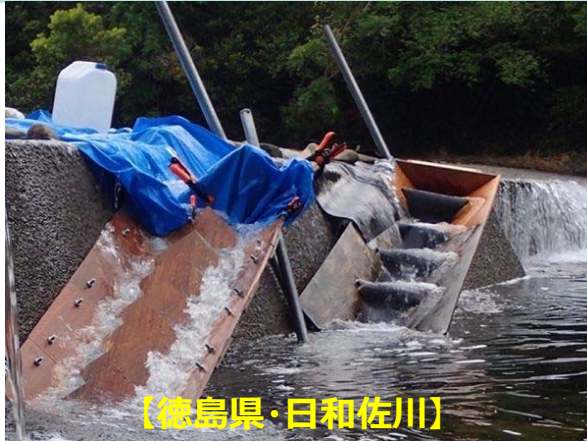
【岡山県・吉野川】



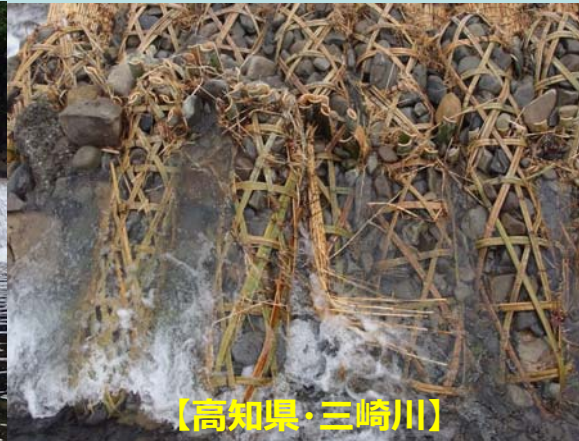
【島根県・静間川】

2. 小さな自然再生の普及促進活動

サミット開催～発表事例



【徳島県・日和佐川】



【高知県・三崎川】



【福岡県・休耕田】

2. 小さな自然再生の普及促進活動

サミット開催～現地視察



小さな自然再生サミット神戸大会 現地視察 (2019.1@兵庫・神戸市)

2. 小さな自然再生の普及促進活動

サミット開催～成果普及



2019年
1月26・27日
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (UKITO)

小さな自然再生サミット

～できることから始めよう～ 2019 神戸大会

開催報告

日本河川・流域再生ネットワーク

【主催】「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク
【後援】国土交通省



<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/237>

小さな自然再生サミット開催報告 (2019.2 発行)

2. 小さな自然再生の普及促進活動

今後の展開+今年度PR

小さな自然再生を全国の川づくりに実装していくため、以下に尽力してまいります。

- ①地域課題に柔軟に対応できる**技術の体系化** (要素技術や効果検証法の確立)
- ②全国の**担い手のネットワーク化** (連携・協働体制構築)
- ③**支援機能**の充実 (サポート窓口、専門家派遣、研修プログラム etc.)
- ④**普及啓発**促進 (拡がりの可視化やツール充実化等のアウトリーチ)

「小さな自然再生事例集Ⅱ(仮称)」掲載 「取組事例」を募集します

(9月20日(金) 応募〆切)

2019年9月 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)では、市民が行政と連携して日曜大工的に取組む「小さな自然再生」に関わる事例集を、2014年度に有志メンバーとともに制作・発行しました。その後も小さな自然再生に関わる取組みが全国に拡がる中、今年度は、この事例集の続編として、新規の事例を盛り込んだ「小さな自然再生事例集Ⅱ(仮称)」を現在制作中です。そこで、**事例集Ⅱで紹介させて頂く「取組事例」を募集致します。**小さな自然再生に実践的に関わってこられた全国の皆さまから、活動の目的や歩み、施工や維持管理の工夫や効果などの生の情報を寄せ頂ければ幸いです。下記募集要項をご確認の上、ご応募お待ちしております。

<実施体制>

- 編集・制作: 「小さな自然再生」研究会
- 各事例執筆: 全国の小さな自然再生の担い手の皆さま
- 発行/制作事務局: 日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)
- ※2020年2月頃に発行予定

【募集内容】

事例集で紹介する水辺の小さな自然再生に関わる取組事例(業・執業者)を募集します。
※要項の事例テンプレート(A3サイズ2ページ)で事例情報を紹介頂きます。
■事例執筆サンプル → <http://www.a-rr.net/jp/info/docs/collaboriver201909sample.pdf>
■事例集編集イメージ → <http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/files/2019/03/JRRNcollaboriver2019case95.pdf>

【応募方法】氏名、所属、連絡先(住所・電話・e-mail)とともに、下記申込先までEメールにてご応募下さい。折り返し、掲載内容を事務局より調整させて頂き、取組事例をご記入頂くための取組事例テンプレート様式(ワードファイル)をお送りします。

【応募期間】2019年9月20日(金)まで

【備考】謝金等の支給はありません。発行後に事例集5部を贈呈します。

【応募申込み・お問い合わせ】

(応募申込み先) E-mail: info@a-rr.net

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)事務局 担当: 澤田みづ子・相田彰
〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 NMF 茅場町ビル7F (公財)リバーフロント研究所内
Tel: 03-6228-3865 E-mail: info@a-rr.net Website: <http://www.a-rr.net/jp/>

おわりに

ご清聴ありがとうございました。

**引き続き、JRRNへのご支援・
ご協力をよろしくお願い致します。**

**JRRN事務局メンバー一同
(土屋・阿部・佐治・澤田・和田)**

